

# 知立駅周辺まちづくりシンポジウム

## 100年に一度のまちづくり

知立駅周辺では、平成35年度の完成を目指しての鉄道の高架事業や、駅周辺の土地区画整理事業さらに再開発事業などのまちづくりが着々と進められています。

本市にとっては100年に一度という大規模な事業で、完成すれば市民の利便性ひいては市の発展に大きく寄与することが期待されています。

しかし、これら公共事業だけで知立の街が活性化するわけではありません。

当然ながら知立に住む人、働く人、学生さん等が集い、楽しめる環境づくりが必要です。

今回のシンポジウムでは、周辺の都市の取り組みや先進事例などを踏まえ、「出かけたくなる知立駅周辺」をどのようにつくっていったらよいか、第1部では、まちづくりの専門家である三上先生のお話を伺い、第2部で、長年駅周辺でまちづくりに関わっておられる藤澤氏、毛受氏そして市長を交えてまちづくりについて話し合います。



まちづくり完成時の知立駅周辺のイメージ図

### 『知立駅周辺まちづくりシンポジウム』

と き／平成**24**年**1**月**14**日(土曜日) 午後**1**時**30**分～午後**4**時  
【開場：午後1時～】

ところ／リリオコンサートホール(裏面の地図参照)

入場料／無料

第1部 **基調講演** 講師 **三上 訓顯氏**

のりあき

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授

最近の研究成果では、金山総合駅北のショッピングモール「アスナル金山」の整備にあたって基本コンセプトの策定と事業推進があります。(2005年竣工)

演題 『人が集うまち』をつくるために

第2部 **パネルディスカッション**

- 三上訓顯氏
- 林郁夫氏(知立市長)
- 藤澤貞夫氏(知立駅周辺まちづくり研究会会長)
- 毛受美佐子氏(知立商工会女性部部长)
- コーディネーター 今村敏雄氏(株連空間設計代表)



三上 訓顯氏



## ■ 鉄道高架事業

知立市は、名鉄名古屋本線が東西に、名鉄三河線が南北に走り、各駅を中心に人口集中地区が形成され、鉄道がまちの発展に大きく影響を及ぼしてきました。

また知立駅は名古屋本線と三河線の乗換駅として当市のみならず広域地域の拠点として重要な役割を果たしています。

しかし、現在では主要な踏切において慢性的な交通渋滞が発生し、地域の分断など、まちの発展の支障となっています。

そこで、こうした状況を解消し、都市交通の円滑化、市街地の生活環境や都市機能の向上を図るため、平成35年度完成を目指して鉄道高架事業を行っていきます。



鉄道高架のイメージ  
2階部分：名鉄本線／3階部分：三河線

## ■ 知立駅周辺土地区画整理事業

知立駅周辺市街地における拠点性の強化、商業地の活性化及び都市環境の改善を図るため、鉄道高架事業と合わせてまちづくりの整備をするものです。現在は、宝町地区より建物移転、道路工事などを着手しています。



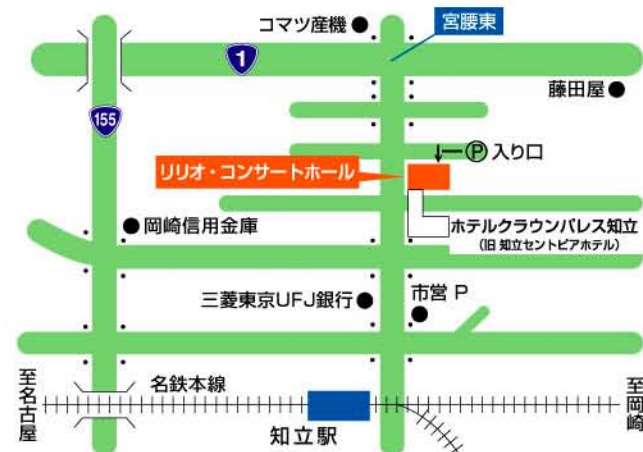
建物移転、道路工事等が進む宝町地区

## ■ 知立駅周辺まちづくり研究会 (会長 藤沢貞夫氏)

知立駅周辺のまちづくりに対し、住民自らが学び研究して住民の声を反映させるため、平成9年7月に設立されました。区画整理事業による「換地」や「建物の建替え等の補償」などの勉強会の開催、新たに建物を建てる時のルールである地区計画の策定、土地の高度利用を行うための共同化事業の推進など、多くのテーマについて研究、実践をしてきました。



まちづくり研究会の様子(2009.10.29)



■ 会場：リリオコンサートホール  
※左記案内図をご覧ください。

■ お問い合わせ 0566-85-5882  
※担当：八重樫、岩城

主催：知立市  
共催：知立連続立体交差事業促進期成同盟会

